



平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 イートアンド株式会社
 コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文野 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 皆川 秀一
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6402-3961

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,965	0.8	662	1.1	669	3.3	382	30.0
25年3月期第3四半期	14,846	5.5	655	18.4	647	19.6	294	31.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	100.40	99.78
25年3月期第3四半期	77.99	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	10,372	3,433	33.0	898.35
25年3月期	9,920	3,135	31.5	820.44

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 3,426百万円 25年3月期 3,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		0.00		15.00	15.00
26年3月期		7.50			
26年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,552	3.8	968	7.3	945	5.0	504	17.2	132.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

- (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,814,545 株	25年3月期	3,814,545 株
期末自己株式数	26年3月期3Q	274 株	25年3月期	274 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,814,271 株	25年3月期3Q	3,776,743 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の業況判断や雇用情勢に関する各種指標の改善が続いており、政府の月例経済報告において「デフレ」の表記が削除されるなど、景気が緩やかに回復しつつあるものの、輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇、今春の消費税増税による消費減退への懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

一般の消費生活においては、消費税増税後の反動など、消費マインドの先行きについての懸念材料も少なくありませんが、消費税増税前の駆け込み需要もあって、高額品の売れ行きが引き続き好調です。また、日用品につきましては、食料品が堅調に推移しているほか、衣料品にも回復の兆しがみられます。

このような状況の下、当社におきましては、2012年秋に稼働を開始しました関東工場におきまして、製造力強化のため、食料品販売事業向け冷凍水餃子の製造ラインを増設し、配荷店舗の拡大を企図した営業強化をおこないました。

また、2013年12月10日には、過去数年にわたる業績の維持・伸長と内部統制強化の成果として、東京証券取引所市場第一部への指定の承認を得ております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社の業績は、売上高が149億65百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益が6億62百万円（同1.1%増）、経常利益が6億69百万円（同3.3%増）、四半期純利益は3億82百万円（同30.0%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

外食事業

外食事業におきましては、2014年秋の大阪王将創業45周年に向けた通年の記念キャンペーンを継続的に実施し、創業記念メニューの発売や告知、サービス券配布など、全国の直営・加盟店合同での店頭販促に努めました。ラーメン業態におきましては、太陽のトマト麺ブランドが夏に全国ネットテレビ番組で広く露出した効果を最大化するため、次回来店時に利用可能なサービス券を配布したほか、女性や子供向けの取り組みを強化するなど、同ブランドのファンを増やす取り組みを強化いたしました。その他業態におきましては、特に中食業態で目玉商品の開発に取り組み、一定の成果を収めております。

なお、当第3四半期累計期間におきましては、加盟店33店舗（うち海外10店舗）、直営店4店舗の計37店舗を出店した一方、加盟店11店舗、直営店4店舗の計15店舗を閉店した結果、当第3四半期末店舗数は、加盟店393店舗（うち海外24店舗）、直営店39店舗の計432店舗（うち海外24店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い3店舗を直営店から加盟店、5店舗を加盟店から直営店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第3四半期累計期間の売上高は、80億69百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、今後の新たな主力商品と目する冷凍水餃子の拡販に努めました。また、冷凍餃子のラインアップ充実を企図し、従来の酢醤油だれとは別に味噌だれ付の冷凍焼餃子を発売しましたほか、第2四半期に引き続き、生協のプライベートブランドに対応した製品の拡販に努めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第3四半期累計期間の売上高は、68億96百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より4億52百万円（前事業年度比4.6%）増加し、103億72百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億21百万円（前事業年度比2.3%）増加し、53億12百万円となりました。主な要因は、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より3億30百万円（前事業年度比7.0%）増加し、50億60百万円となりました。主な要因は、直営店新規出店および冷凍水餃子の製造ライン導入に伴う有形固定資産の取得、関連会社2社への増資引き受けに伴う関係会社株式の増加によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より1億54百万円(前事業年度比2.3%)増加し、69億39百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より3億17百万円(前事業年度比5.9%)増加し、56億92百万円となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より1億62百万円(前事業年度比11.5%)減少し、12億46百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より2億97百万円(前事業年度比9.5%)増加し、34億33百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.0%(前事業年度末31.5%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に対して1億96百万円減少し、6億19百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億20百万円(前年同四半期は47百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益6億65百万円の計上、減価償却費3億20百万円の計上などが増加の要因であり、法人税等の支払い3億35百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億22百万円(前年同四半期は12億2百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億86百万円、関係会社株式の取得による支出47百万円、差入保証金の支出43百万円、関係会社への貸付による支出42百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は93百万円(前年同四半期は7億26百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額による増加2億4百万円が増加の要因であり、長期借入金の返済による支出1億61百万円、配当金の支払い84百万円などが減少の要因であります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日付「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,769	625,813
売掛金	3,636,572	3,740,907
商品及び製品	387,374	558,600
原材料及び貯蔵品	122,990	179,098
前払費用	105,885	102,291
繰延税金資産	74,702	30,671
その他	47,110	76,373
貸倒引当金	1,699	1,455
流動資産合計	5,190,706	5,312,301
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,904,292	1,940,489
土地	1,089,772	1,089,772
その他(純額)	731,781	924,845
有形固定資産合計	3,725,846	3,955,108
無形固定資産	34,639	30,555
投資その他の資産		
差入保証金	499,459	522,978
繰延税金資産	140,272	109,296
その他	358,872	459,793
貸倒引当金	29,573	17,534
投資その他の資産合計	969,030	1,074,534
固定資産合計	4,729,516	5,060,199
資産合計	9,920,223	10,372,500

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,340,962	2,566,721
短期借入金	605,950	810,000
1年内返済予定の長期借入金	211,258	199,812
未払金	1,189,275	1,177,020
未払費用	227,088	250,869
未払法人税等	180,400	60,555
賞与引当金	109,124	51,133
役員賞与引当金	20,685	19,012
売上割戻引当金	368,392	361,498
その他	122,507	196,230
流動負債合計	5,375,643	5,692,853
固定負債		
長期借入金	286,685	136,826
退職給付引当金	77,730	79,497
役員退職慰労引当金	282,210	298,200
その他	762,357	731,973
固定負債合計	1,408,983	1,246,497
負債合計	6,784,627	6,939,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,747	456,747
資本剰余金	389,183	389,183
利益剰余金	2,283,002	2,580,131
自己株式	293	293
株主資本合計	3,128,639	3,425,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	726	788
評価・換算差額等合計	726	788
新株予約権	6,230	6,593
純資産合計	3,135,595	3,433,149
負債純資産合計	9,920,223	10,372,500

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,846,946	14,965,462
売上原価	9,653,277	9,716,647
売上総利益	5,193,668	5,248,814
販売費及び一般管理費	4,538,189	4,586,121
営業利益	655,479	662,692
営業外収益		
受取利息	899	978
受取配当金	157	65
受取手数料	9,881	4,598
補助金収入	1,950	1,362
貸倒引当金戻入額	2,486	11,483
雑収入	1,491	613
営業外収益合計	16,865	19,102
営業外費用		
支払利息	6,765	7,773
株式公開費用	16,428	4,000
雑損失	1,608	880
営業外費用合計	24,802	12,653
経常利益	647,542	669,141
特別利益		
新株予約権戻入益	-	6,230
特別利益合計	-	6,230
特別損失		
固定資産売却損	1,400	-
固定資産除却損	8,136	6,424
減損損失	113,730	-
店舗閉鎖損失	-	3,352
特別損失合計	123,267	9,776
税引前四半期純利益	524,275	665,594
法人税、住民税及び事業税	196,701	207,672
法人税等調整額	33,033	74,971
法人税等合計	229,734	282,644
四半期純利益	294,540	382,950

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	524,275	665,594
減価償却費	253,490	320,456
減損損失	113,730	-
店舗閉鎖損失	-	3,352
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,252	1,767
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,800	15,990
賞与引当金の増減額(は減少)	72,884	57,990
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,617	1,673
売上割戻引当金の増減額	56,350	6,894
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,486	12,283
受取利息及び受取配当金	1,056	1,043
支払利息	6,765	7,773
株式公開費用	16,428	4,000
有形固定資産除売却損益(は益)	9,537	6,424
新株予約権戻入益	-	6,230
売上債権の増減額(は増加)	440,539	104,334
破産更生債権等の増減額(は増加)	-	12,039
たな卸資産の増減額(は増加)	194,408	227,333
その他の資産の増減額(は増加)	142,374	46,560
仕入債務の増減額(は減少)	182,156	225,759
未払費用の増減額(は減少)	25,787	23,788
未払金の増減額(は減少)	119,800	53,982
未払消費税等の増減額(は減少)	40,019	64,517
預り保証金の増減額(は減少)	35,109	8,038
その他の負債の増減額(は減少)	24,896	27,877
その他	-	3,301
小計	440,198	849,670
利息及び配当金の受取額	1,064	673
利息の支払額	6,909	7,803
法人税等の支払額	387,154	335,215
法人税等の還付額	-	13,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,199	520,524

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,500	4,500
定期預金の払戻による収入	35,307	-
有形固定資産の取得による支出	1,018,216	486,323
有形固定資産の売却による収入	1,769	-
無形固定資産の取得による支出	9,965	5,272
関係会社貸付けによる支出	-	42,958
関係会社出資金の払込による支出	50,319	-
関係会社株式の取得による支出	97,576	47,153
出資金の回収による収入	1,010	-
貸付けによる支出	-	19,166
貸付金の回収による収入	4,970	4,058
差入保証金の差入による支出	77,708	43,737
差入保証金の回収による収入	12,578	22,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,202,650	622,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	335,740	204,050
長期借入れによる収入	600,000	-
長期借入金の返済による支出	130,486	161,305
自己株式の取得による支出	47	-
配当金の支払額	55,110	84,987
株式公開費用の支出	16,428	4,000
リース債務の返済による支出	40,858	54,342
ストックオプションの行使による収入	27,150	-
新株予約権の発行による収入	6,306	6,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,266	93,991
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	429,185	196,456
現金及び現金同等物の期首残高	890,488	815,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	461,303	619,313

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,742,146	7,104,799	14,846,946	14,846,946	-	14,846,946
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,742,146	7,104,799	14,846,946	14,846,946	-	14,846,946
セグメント利益	514,876	223,177	738,053	738,053	82,574	655,479

(注)1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 82,574千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗設備について、113,730千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,069,126	6,896,335	14,965,462	14,965,462	-	14,965,462
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	8,069,126	6,896,335	14,965,462	14,965,462	-	14,965,462
セグメント利益	540,053	212,541	752,594	752,594	89,901	662,692

(注)1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 89,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。